土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	その他河川 天地川 外 砂防激甚災害対策特別緊急事業に係る業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	

ボーリング名	Bor-8	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦	北緯	34° 18' 26.1204"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 6月19日～ 令和2年 6月19日	東経	132° 30' 57.8897"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 52.37m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	5.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1-B58 / エンジン：ヤンマーNFD13 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	51.92	0.45		砂質土		暗褐 濃暗灰			細～中粒の有機質な砂質土。φ5～30mmの亜角礫・亜円礫が混じる。	6/19 無し
1				砂質土		淡赤褐	rd1		粘土分を含んだ細～中粒の砂質土。深度1.00m付近まで、粘土分多い。φ5～10mmの角礫・亜角礫が不規則に点在する。深度1.00mから砂粒子は粗くなる。	
2	50.37	2.00		砂礫		淡褐	rd4		細～粗粒砂。φ10～70mmの風化した角礫や硬い角礫が混じる。	
3	49.47	2.90		花崗岩		淡灰			中硬岩相当の花崗岩。長さ4～8cmの岩片又は長さ10～38cmの短棒状～棒状。岩質は新鮮で、ハンマーの打診で金属音を発する。深度3.35～3.45m間、長さ1～2cmの薄層状。全体的に水平方向の割れ目が多い。	
4										
5	47.37	5.00								
6										
7										
8										
9										
10										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
0	1.15	ハンマー自沈			0/380		380
	1.53						
34	2.15	5	5	24	34/300		
	2.45						
50以上	3.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	4.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	5.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1.15	P-1	⊖		6/19
1.53				
2.15	P-2	⊖		
2.45				